



Japan Business Management Association

(一社) 日本経営管理学会

JBMA Newsletter No.28 2016 (平成28) 年 8 月 9 日 (火)

1. 第7回西日本地区研究会のご案内 (第1信)

第7回西日本地区研究会を下記のとおり開催いたしますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ・日時：平成28(2016)年11月19日(土) 13:30~17:15
- ・会場：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス (D号棟 202教室)
神戸市中央区港島1-1-3 電話：078-974-1551
- ・参加費：1,000円(正・準会員) 2,000円(一般(非会員)) 情報交換会費：4,000円
- ・準備委員長：井上善博氏(神戸学院大学) 携帯：090-5803-7827
- ・発表者：3名(公募する)。応募者は発表申込書をご提出ください。申込締切日：9月15日(木)
- ・交通アクセス(会場地図は下の「Port Island Campus」をご覧ください。)

電車：・山陽新幹線「新神戸駅」から神戸市営地下鉄で「三宮駅」まで。

・神戸市営地下鉄「三宮駅」、JR神戸線「三ノ宮駅」、阪急・阪神「神戸三宮駅」から神戸新交通ポートライナー(9分で)「みなとじま駅」下車、西へ徒歩約6分。

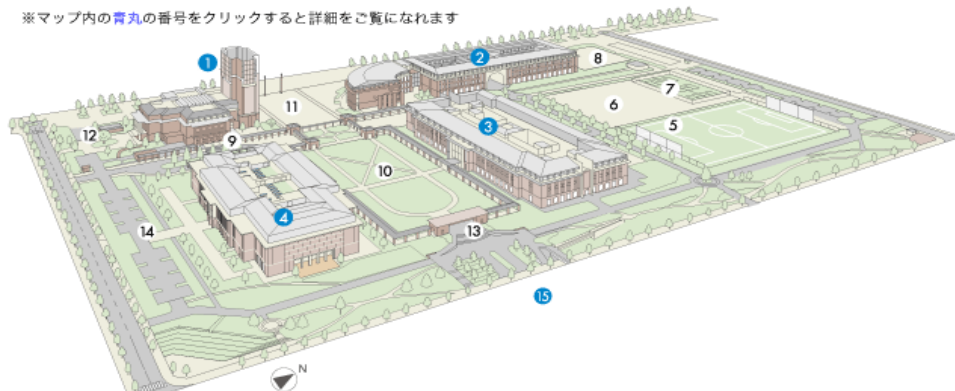
(神戸空港からもポートライナーで10分で「みなとじま駅」に到着できます。)

(直通バスは、土曜日の運行本数が非常に少ないため避けた方が良いでしょう。)

Port Island Campus

まるで海上に浮かぶように海に隣接するキャンパスは国際都市神戸にふさわしく、最新の設備と環境を整えて未来へと前進しています。

※マップ内の青丸の番号をクリックすると詳細をご覧になれます



① A号棟

② B号棟

③ C号棟

④ D号棟

⑨バスターミナル

(出典：神戸学院大学のホームページ、2016/5/6)

2. 学会誌「経営管理研究」第6号発刊

学会誌「経営管理研究」第6号が7月上旬に完成し、第7回全国大会(7月16日)にご出席された各位には、会場で1部をお渡ししました。なお、ご欠席の各位には、配送いたしました。

3. 学会誌『経営管理研究』第7号の原稿募集について

学会誌『経営管理研究』第7号への応募原稿を次のとおり募集いたします。応募希望の会員は、下欄の原稿募集要項に従って原稿を執筆し、本学会事務局までご提出下さい。

学会誌編集委員会

学会誌『経営管理研究』第7号の原稿募集要項

- 1 学会誌名称 『経営管理研究』(The Journal of Business Management) とする。
- 2 応募資格 原則として日本経営管理学会の会員でなければならない。
- 3 使用言語 原稿執筆で使用する言語は、日本語または英語とする。なお、日本語で執筆する場合は英文のタイトル、英語で執筆する場合は日本語のタイトルを併記すること。
- 4 応募要件 原稿は査読付論文と一般論文を募集する。いずれの場合にも同一人による執筆原稿の応募は、単独論文(単著)に限り原則として機関誌発行毎に論文1件とする。
- 5 査読論文 査読付論文を希望する執筆者は、左上に査読付論文と明記すること。
- 6 掲載不可 学会誌の発行に係る諸事情により原稿掲載が不可もしくは困難な場合には、原稿の掲載を制限することがある。
- 7 原稿枚数 原稿の字数は、論文の種別によりそれぞれ次のとおりとする。
 - ① 査読付論文並びに研究論文については、400字詰め原稿用紙換算で図表を含めて25枚(10,000字)までとする。
 - ② 研究ノート等については、400字詰め原稿用紙換算で図表を含めて20枚(8,000字)までとする。
- 8 原稿校正 原稿は完全原稿で提出し、執筆者本人の校正は2回までとする。
- 9 配付部数 掲載原稿の執筆者には、発行された学会誌2冊を配付する。ただし、執筆論文の抜刷り希望の場合は実費とする。
- 10 提出期限 **2017年2月28日(火) 必着**とする。ただし、査読付論文の提出期限は**2017年1月31日(火)**とする。
- 11 提出方法 応募原稿の提出は、ワードプロセッサによる横書き原稿で作成し、ハードコピー一部と電子媒体(FD、USBメモリー、CD-R等)一枚を送付するものとする。ただし、Eメールに添付する方法で提出することも認める。なお、送付に際しては、学会誌への応募原稿であることを封筒表面に朱記すること。
- 12 発行予定日 **2017年7月1日**
- 13 問合せ先 原稿の応募に関する問い合わせは、学会事務局を通じて学会誌編集委員会宛にお願いいたします。

学会事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-5 市ヶ谷法曹ビル 607号
(一社)日本経営管理協会内 E-mail : honbu09@jima.org
TEL. 03-3261-1145 FAX. 03-3261-3315

4. 文献紹介

根来龍之『ビジネス思考実験』日経 BP 社、2015 年、2,160 円、全 335 頁。

千葉大学法政経学部准教授 小川真実

およそ、実学と呼ばれる学問分野において、近年科学としての性質が求められるようになり、仮説の精度が高められてきた。経営学もその一つである。とはいえ、経営学者の提唱する理論やフレームワークであれ、現場叩き上げの経営者の持論であれ、それを丸暗記するだけでは優れたビジネスの実践に結び付くわけではない。とくに学問としての経営学は、研究者の世界で評価されることが重要であるため、「一般性」や「普遍性」が重視される。一般性を追求するあまり、実際のビジネスに対するインプリケーションが得られにくいところがある。

洗練された経営理論やフレームワークといえども、せいぜい、「傾向法則」を見つけるまでに過ぎない。経営学の傾向法則は時と場合によって当てはまり具合が異なり、例外が存在する法則である。勉強したことをそのまま適用するだけでは、他者と異なる独創的な発想やアイデアが生まれるわけではない。また、成功した経営者が語る経験や持論などの「成功法則」は、当事者の置かれた状況が全く同じでない限り、単純な模倣では成功する見込みはない。

つまり、理論やフレームワークなどのインプットから、ビジネス実践というアウトプットを効率的かつ効果的に結び付けるには、ひと手間かける必要があり、なんらかの知的作業が必要になる。それが思考実験である。思考実験とは、「現実の本質を取り出し、本質に基づいて説明を試みたり、因果関係を想定しながら将来を予測したりするもの」であり、現実を異なる視点で捉えなおし、新たな解決策を導き出すこともできる。

本書は、ビジネスの思考実験の手がかりを提供する三部構成の文献である。

第一部では経営学など社会科学に共通する方法論を解説する。

第二部では競争戦略の定番理論や代表的なフレームワークを紹介しながら、経営学の概念や傾向法則の意味を解き明かすとともに、その前提条件や限界を探る。

第三部では、ビジネスモデルの構築と展開に向けた実践的な設計方法が提案されている。

本書は、実践重視のデザイン思考に基づくビジネスモデルの構築に向けて、思考実験することの意義を説くことに、類書にない特徴がみられる。経営学の枠組みを超えて、哲学や科学論に遡っており、そこで社会科学の固有の限界に強調している。社会科学では、因果関係の多元性こそ特徴が見出されるというものである。また、定番の経営戦略も、それらを超えてきた新たな戦略やフレームワークも、根本的な経済原理を基礎としているものの、変化していく現状に最適とは限らない。ビジネスの創造は主観的な発想に由来するため、現実からの乖離をチェックしなければならない。実現のための前提を問うことで、ビジネスモデルの安定性と将来性が強化される。適切な前提から正確なロジックを展開することの意義を強調する本書は、ビジネススクールで最前線を牽引してきた教育手腕が雄弁に示される一冊といえる。是非とも精読をお勧めしたい。

5. 随筆

脳梗塞の後遺症「痺れ&目まい」対応の新発見！

(一社) PL 研究学会名誉顧問 梁瀬和男

昨年10月末、突然、脳梗塞が発症し、生まれて初めて78歳で入院しました。約2週間で退院し、リハビリ散歩を始めて間もなく、年明けの1月初めに脳梗塞が再発して再入院。それも約2週間で退院できました。そのため現在も、左の小脳と右の小脳の血管に直径8ミリの血栓があります。幸い、長嶋茂雄さんのような「麻痺」はなかったのですが、右の足・手・首を中心にかんりの「痺れ」と「目まい」の後遺症があり、毎朝、起きた時から1日中憂鬱な気分でした。脳梗塞の専門医に3人も相談しましたが、どの医者も同じことをおっしゃいます。「梁瀬さん、『麻痺』が無くてよかったじゃないですか」と言って相手にもしてくれません。

しかし、毎日の憂鬱な気分には勝てず、このままではストレになり、精神的に自滅しそうでした。「このままではダメだ。何とかして変えよう！」と心に誓い、丸一日、徹底的に考えました。やっと、見つかりました。コペルニクスの転換、文字通り「逆転の発想」です。「痺れ&目まい」は「闘病」の相手「敵」ではなく、「仲間」として一緒に仲良く暮らしていこう！という発想です。

お恥ずかしいですが、英語で表現すれば次のような考え方です。

“I live in harmony with becoming numb and dizzy.”

そして、「痺れ&目まい」に愛称(あだ名)を付けました。「ナムちゃん」と「ディズちゃん」。両方まとめて、「ディムちゃん」(dimbちゃん)。

毎朝起きると、「ディムちゃん、おはよう」と声をかけてゆっくり立ち上がります。「痺れ&目まい」はいつものようにかなりひどいのですが、「敵」ではなく「仲間」ですから、気分爽やかです。今後はこの発想を「私の信条」(MY DREDO)にしたいと思っております。

6. 住所、勤務先、電話番号、電子メールアドレス等の変更連絡のお願い

ご自宅住所、勤務先、電話や携帯番号、電子メールアドレスなどが変更になった方は、学会ホームページの入会の申込みより「登録内容変更届」を開いて必要事項をご入力の上学会事務局あて、ご一報くださるようお願い致します。

7. 「JBMA Newsletter」への寄稿のお願い

会員の皆様に、「JBMA Newsletter」への随想や書評などの寄稿をお願いいたします。

内容：随想や書評など(テーマは自由)

字数：半頁相当(約1000字)

期限：次号「JBMA Newsletter №.29」の原稿は、平成28(2016)年9月30日

(金)までに事務局へメール(添付書類)で送信してください。

以上

平成 28 年度第 7 回西日本地区研究会 「自由論題」 発表申込書

申込締切日 9 月 15 日 (木)

(フリガナ) 名 前		性 別	
連絡先 住所	〒		
TEL			
Fax			
E メール			
所属 機関名			
発表 テーマ			
発表内容 の概要			
共同 発表者 氏名			
(非会員の 場合のみ) 推薦者 署名	印		

一般社団法人 日本経営管理学会

学会事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-5 市ヶ谷法曹ビル 607 号

(社) 日本経営管理協会内 E-mail : honbu09@jima.org

TEL. 03-3261-1145 FAX. 03-3261-3315